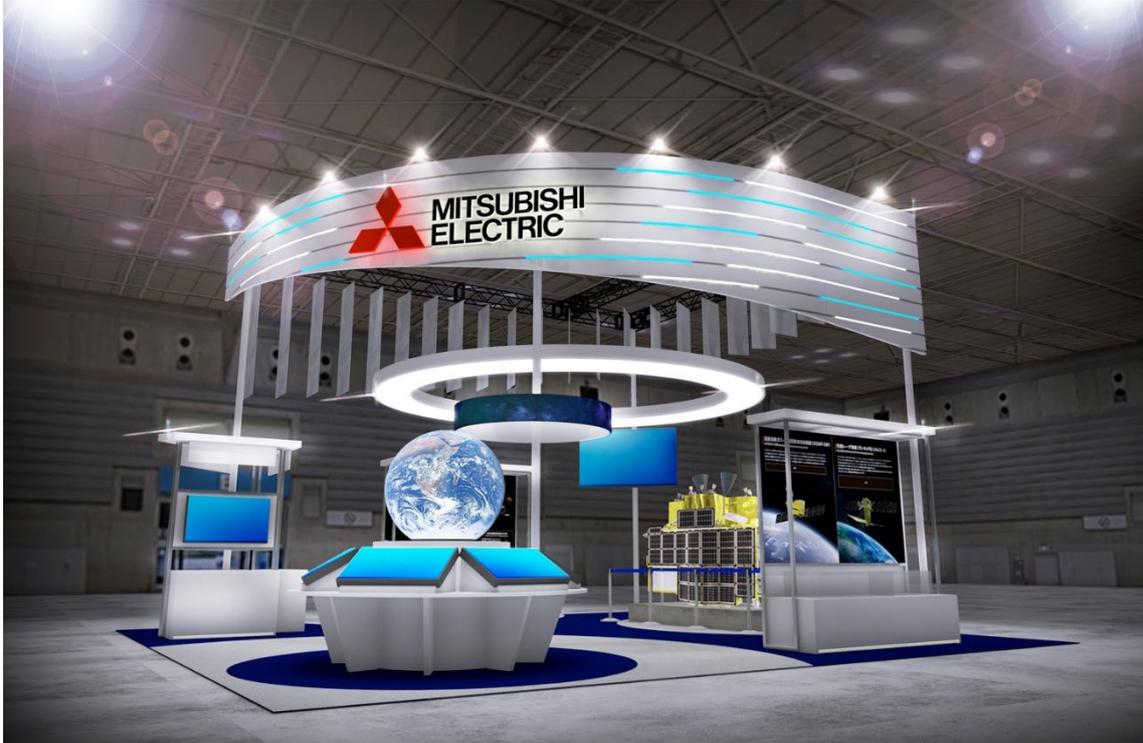


2024年10月2日
三菱電機株式会社

NEWS RELEASE

「2024 国際航空宇宙展（JA2024）」出展のお知らせ
衛星インフラ構築・データ利活用や宇宙空間・月などへの取り組みを紹介



ブースのイメージ図

三菱電機株式会社（以下、三菱電機）は、10月16日（水）から19日（土）まで東京ビッグサイト（東京都）で開催される「2024 国際航空宇宙展（JA2024）」に出展します。本展示会では、「『衛星インフラ構築・データ利活用』や『宇宙空間・月などへの取り組み』にたゆまぬ挑戦を続け、安心・安全な社会づくりと人類の持続的な発展に貢献する」をテーマに、当社の取り組みを紹介します。

出展ブース：東京ビッグサイト 西1ホール（ブース W1-007）

出展内容

【衛星インフラ構築・データ利活用の取り組み】

安心・安全な社会を支える衛星インフラと、衛星観測データを社会課題解決に役立てるソリューションについて紹介します。

・ 地球観測衛星

地球環境の状態を把握し、災害監視・気象予測・気候変動把握など多様な場面で活用される先進レーダ衛星「だいち4号」、次期静止気象衛星「ひまわり10号」、温室効果ガス・水循環観測技術衛星（GOSAT-GW）に関する取り組みを紹介します。

・ 衛星観測ソリューション

「防災・減災」、「インフラ監視」、「カーボンニュートラル」、「海洋監視」分野において、衛星観測計画の立案から衛星画像の処理・分析までを一貫して行い、衛星観測データを利活用する事例を紹介します。

・ 測位衛星

常に1機以上の衛星が日本の天頂付近に滞在し、GPS衛星の測位精度を向上させる準天頂衛星システム「みちびき」（QZSS）について、自立測位を可能とする準天頂衛星7機体制に向けた当社の取り組みを紹介します。

- ・ 通信衛星

広域性、同報性、耐災害性といった特長を持つ通信衛星の高速大容量の通信需要に対応するため、最先端技術を実証し国際競争力ある衛星システムの実現に向けて開発中の技術試験衛星 9 号機に関する取り組みを紹介します。

【宇宙空間・月などへの取り組み】

航法誘導制御を中心とする高度な技術を用いた、宇宙機・補給機に関する取り組みを紹介します。

- ・ 小型月着陸実証機「SLIM」

2024 年 1 月に誤差 100m 以内で月面への高精度着陸に成功した小型月着陸実証機「SLIM」について、実際の開発試験に使用された実寸大の開発モデルなどを用いて紹介します。

- ・ 新型宇宙ステーション補給機 (HTV-X)

国際宇宙ステーション (ISS) への物資輸送を担う宇宙ステーション補給機「こうのとり」(HTV) の次世代機にあたる、新型宇宙ステーション補給機 (HTV-X) に関する取り組みを紹介します。

- ・ 火星衛星探査計画 (MMX)

世界初の試みとして火星衛星の観測・サンプル採取を行い、地球に帰還・回収を目指す火星衛星探査計画 (MMX) 探査機システムに関する取り組みを紹介します。

三菱電機の宇宙事業について

三菱電機は、宇宙航空研究開発機構 (JAXA) が推進する国内衛星開発プロジェクトの半数近くに主契約者として参画し、日本の宇宙開発におけるリーディングカンパニーの地位を築いてきました。今後も保有する技術力の更なる強化を図り、宇宙事業の更なる継続的発展と挑戦を通じて、持続的でレジリエントな社会及び豊かな未来の実現に貢献していきます。

関連サイト

JA2024 公式サイト

<https://www.japanaerospace.jp/jp/>

お問い合わせ先

<報道関係からのお問い合わせ先>

三菱電機株式会社 広報部

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号

TEL 03-3218-2332 FAX 03-3218-2431

<お客様からのお問い合わせ先>

三菱電機株式会社 防衛・宇宙システム事業本部 宇宙システム事業部

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号

<https://www.MitsubishiElectric.co.jp/society/space/>